

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	1
サポートクラス	バード	Lv.1:	バード	性別	女
称号クラス				年齢	20
種族	ナイトメア			境遇	天涯孤独
出自 (効果)	放浪者			目標	運命

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	6	8	12	12	12	6
ボーナス	3	2	2	4	4	4	2
クラス修正	0	1	0	1	1	2	1
他修正							
能力値	3	3	2	5	5	6	3

HP	30
MP	37
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手	ラウンドシールド		0	0	0	3	0	-1	0
頭部	フェアリープリンセス					2			
胸部	ローブ					2			
補助	マント					1			
装身具	聖印								
能力値			3	0	2	0	6	7	8
スキル									
その他									
総計(右)			3	0					
総計(左)			3	0	2	8	6	6	8
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	5			5	+ 2 d
アイテム鑑定	5			5	+ 2 d
魔術判定	5			5	+ 2 d
呪歌判定	6			6	+ 2 d
錬金術判定	3			3	+ 2 d

所持品	
冒険者セット	
MPポーション	
バックパック	

現在重量: 6  
 最大重量: 14  
 所持金: 30  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
フェイ: ナイトメア	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: ダメージ与えた場合+【放心】付与								
プロテクション	2	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果: 対象が受ける予定のダメージに-[SLd]								
ヒール	1	4	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: 対象に【HP】回復を行う。対象の【HP】を[3D+CL×3]点回復する。								
ジョイフルジョイフル	2	7	メジャー	20m	単体※	呪歌	シーンSL	
効果: 行動済みの対象を未行動にする。								
	1							
効果:								
インサイト	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: はったりや嘘を見抜く等の【精神】判定に+1Dする。								
トレーニング: 筋力	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 筋力の能力基本値に+3								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

[ヴァリアの設定]ヴァリアは物心がつく前から一人だった、正確には7歳の時から一人だった。それ以前の記憶など小さい頃だから覚えて居ない。ナイトメアの彼女に何かを求めて来るものはおらず、また彼女も何のために生きているのかを見つけていないのでずっと一人で今まであちこちを彷徨っていた。そんな彼女が唯一目的があるとすればそれは神様のお告げだろう、彼女にはそれが聞こえている、もしくは幻想か、それだけを頼りに今まで歩いてきたのだ。その為か聖職者の様な行いをするようになり、神様のお告げをよく歌にして口ずさんでいる。今日も彼女は神様のお告げを受けお祈りし、誰かをひっそり助け、誰の邪魔にならないように人気の無い所で歌を口ぐさみ報告する。それが彼女の習慣であり今の生きる意味なのかもしれない。いつかほんとの意味を探し出すまでは...

[伝承武器「フェアリープリンセス」とヴァリアを7年間育てた人について]  
 ヴァリアの両親は謎の病により産まれてすぐに息を引き取ってしまった。だが一人のヒューリンの青年が彼女を見つけひっそりと保護することにしたので、その青年は彼女を「ヴァリア(どこかの国の言葉で運命という意味)」と名付け、サークレットを被せた、するとナイトメアによる悪夢による被害は起こらなくなつたらしい。そのサークレットの名は「フェアリープリンセス」と呼ばれていた。ところがヴァリアが7才の誕生日を迎える日、彼女の素性がバレてしまい追い出すように青年は村の皆に言われてしまった。青年は彼女に「そのサークレットがあればこの先何があっても大丈夫だよ、僕が出るのはここまでみたいだ...ごめんね、いつかまた会えると信じてるから。」と言って転送石を握らせた。彼女は必至に拒んだが転送石の力が発動し気が付けば知らないどこかだった。彼女はただ青年の名を叫びながら泣きつづけた。「フランドラ」と。その事は今は昔の話、もう彼女の記憶には残っていない、自ら消し去ったのか、何者かが忘れさせたのか、それは分からない。  
 [伝承武器: フェアリープリンセス]テンプレート 冠 重量2 防御力CL+1  
 継承: 運命[FP+1]伝承: 神々の武器[フリー。FP1点回復。シナリオ1]  
 宿命: 再会[フランドラとの再会をいつか果たす]  
 呪詛: 絶望[ファンブル時FP1喪失(生きる意味を見失う)]  
 妖精にのみ装備が許された運命を司るサークレット、装備者は運命を勝ち取る事が出来ると言われていた。運命に勝ち強く願えば望みが叶うかもしれない。色はシルバー。ヴァリアが装備した場合悪夢を見せる効果が消える。